

特殊詐欺の認知状況（令和元年8月末） ～令和元年8月は5件の被害を認知～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（令和元年8月末現在）

- 被害認知件数は**20件**（前年同期比－14件）
- 被害額は**約1億7,250万円**（前年同期比＋約1億2,170万円）

2 令和元年8月の認知状況

- 被害認知件数は5件（前年同月比±0件）
- 被害額は約1,090万円（前年同月比＋約820万円）
- 手口は、

【主要手口】

- ・オレオレ詐欺（その他の名目）未遂 1件
- ・架空請求詐欺（有料サイト利用料金等名目） 1件
（その他の名目） 1件

【その他の手口】

- ・異性との交際あっせん 1件

【窃盗】 1件（キャッシュカードの窃盗被害）

3 8月の特殊詐欺事案

県内全域の高齢者宅に警察官を名乗る不審電話が相次いでかかってきました。

実際に、佐世保市内居住の女性宅に警察官を名乗る者から電話があり、その後、警察官になりすました犯人が女性の自宅に来てキャッシュカードをだまし取られ、口座から現金を引き出されるという被害が発生しました（詳細は、本年9月5日発行の「もってこいネットワーク通信第42号」を御覧ください。）。

また、長崎市内居住の男性宅にも同じように警察官を名乗る者から「**詐欺事件の犯人を逮捕したら、犯人があなた名義のキャッシュカードを持っていた。**」、「これから警察官が行くので**キャッシュカードを確認させてください。**」などとうその電話があり、警察官になりすました犯人が男性の自宅に来てキャッシュカードをだまし取られそうになりましたが、不審に思った男性が警察に相談し、被害を防止することができました。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和元年8月末(人)		
	男性	女性	計
0 ～ 19	-	-	-
20 ～ 29	-	-	-
30 ～ 39	3	1	4
40 ～ 49	-	1	1
50 ～ 59	1	1	2
60 ～ 64	1	-	1
65 ～ 69	1	1	2
70 ～ 79	2	4	6
80 ～ 89	1	2	3
90 ～	-	1	1
合計	9	11	20
うち65歳以上の高齢者	4	8	12

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和元年8月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	6
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	-
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	4
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	6
キャッシュカード受取型	3
収納代行利用型（コンビニ決済）	-
キャッシュカード窃取型	1
合計	20